

けあき

医療の原点は思いやり

2020
APRIL

1



特集

広報誌に込める思い

「人生100年時代」地域の健康を支える病院を目指す。

「人生100年時代」
地域の健康を支える
病院を目指す。



磐田市病院事業管理者兼病院長 鈴木 昌八

「健康」「長寿」「幸運」の実現を誌名「けやき」に込めて

「人生100年時代」は、健康で長寿を迎えられる仕組みづくりを地域に求めています。私たち磐田市立総合病院は、地域の皆様の健康を預かる病院として、新しい時代とともに進化してまいります。

時代が令和に移り変わり、当院の取り組みをご紹介する広報誌をリニューアルすることにしました。今後、当院の若手職員で制作してまいります。広報誌編集に携わる中で、次世代を担うメンバーが若い感性で地域のニーズをつかみ、課題解決につなげるきっかけにしてほしいと期待しています。地域の皆様からもご意見をいただきながら、病院の取り組みや広報活動を改善していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

さて、病院正面に向かうアプローチの両サイドには、けやき並木があります。けやきは大きく育ち、寿命が長いので、事業の発展を祈って植えることが多いといいます。改めて、けやきの木言葉を調べてみると「健康」「長寿」「幸運」とされています。20年前、当院が建設された際、思いを込めて植樹されたのだろうと感銘を受けました。

けやきに託された思いは、「人生100年時代」の地域の願いであり、当院が基幹病院として考えていかなければならないキーワードでもあります。今回、発刊した広報誌名「けやき」には、このような思いを込めています。

診療、予防、教育の各分野の充実を図る

少子高齢化に伴い、複数の疾患を伴う高齢患者さんが増加しています。そのような状況にも対応すべく、当院は中東遠46万人の基幹病院として、良質な医療を安定して提供し続ける体制を整えてまいります。

診療面では、当院の最重点領域の1つであるがん診療に関し、体にやさしい低侵襲の治療から高難度の手術まで個々のニーズに応じた治療提供体制を拡充させていきます。また、地域の皆様が安心して暮らせるよう救急医療、周産期・小児医療や生活習慣病に関連する疾患などへの対応も強化してまいります。

病気の早期発見だけでなく、病気にならないための予防分野にも注力してまいります。健診センターでの検査項目を充実させるとともに、市民公開講座や出前講座でも、病気予防について情報をわかりやすくお伝えしていきます。

次代を担う小中高校生などの身近な医学教育への参画も私たちの使命と考えています。危ない薬や心肺蘇生の講習からがんや生活習慣病の予防まで、幅広く情報発信することで意識付けを高めていきます。また、今年1月から院内で浜松医科大学4年生の臨床実習が始まりました。医師不足

の静岡県の医療を担う大切な医師の卵たちの育成に多少なりとも貢献できることは病院長としてうれしい限りです。

このように私たち磐田市立総合病院は、「人生100年時代」を診療、予防、教育の各分野で支えていきたいと考えています。地域の皆様が「健康」「長寿」「幸運」を実現できるよう、すべての職員がチームとなり、取り組んでまいります。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。



私たちが広報誌を制作しています！

「若手職員の力を集結して、病院の顔となるような広報誌にリニューアルしてほしい」。

病院長のこの言葉から広報誌制作が始まりました。

広報誌制作に携わってみたいと手を挙げてくれた若手職員と広報担当事務局職員が「ONE TEAM」となって制作にあたっています。

これからはSNSに加え、広報誌「けやき」からも地域医療を支える病院としての取り組みや役立つ医療情報、そして生き生きと働く職員の姿等、今まで伝えることのできなかった魅力を発信していきたいと思えます。

けやきの「本言葉」は「健康、長寿、幸運」です。この広報誌「けやき」が地域の皆様と病院をつなぎ、「健康、

長寿、幸運」の一助となることができれば幸いです。

広報誌「けやき」は2カ月毎の発行となります。磐田市役所、各交流センターをはじめとする磐田市内の公共施設や中東遠地域のかかりつけ医さんに置いていただく予定です。是非、お手に取ってご覧ください。



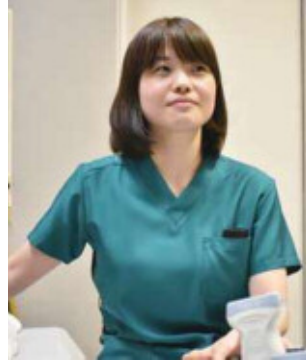
こんな職種が病院を支えています!

病院のひととごと



医師

診療科34科、164名が在籍し、一人ひとりの患者さんに向き合い、根拠に基づいた診断・治療を行っています。



臨床検査技師

診断や治療に役立つ安心で質の高い検査を提供しています。検査のことなら私たちにお任せください。



看護師

患者さんや家族の一番近くで寄り添いながら、医師の指示の下、患者さんへの診療を補助し、入院生活が過ごしやすいように日常生活の援助を行っています。



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

患者さんの「再び自分でできた!」という喜びを共有しながら、その人らしい生活への早期復帰をサポートしています。



薬剤師

調剤、院内製剤、病棟薬剤業務、抗がん剤の調製などを担当し、医薬品のスペシャリストとして皆様の健康維持・増進をサポートしています。



管理栄養士

美味しく、安全な食事の提供と、わかりやすい栄養指導を心がけています。「栄養は治療の基」をモットーに患者さんのQOL(生活の質)向上に努めています。



診療放射線技師

レントゲン、CT、MRIなどの診断検査や放射線治療を行っています。放射線についての知識や高性能な機器を活かして、皆様により良い医療を提供しています。



臨床工学技士

医療機器を安全・安心に使用できるように点検・修理・管理を行うスペシャリストです。

磐田市立総合病院で働く人たちをご紹介します。
それぞれの分野のプロが、専門性を発揮しながら、協力して患者さんと家族を支えています。



歯科衛生士

診療の補助や歯科保健指導、予防処置を行い、お口から患者さんのQOL（生活の質）向上に取り組んでいます。



看護補助員

患者さんが入院生活を送る間の食事や清掃、検査の移送のほか、診療に必要な物品の準備や片付けなどを行っています。



臨床心理士

こころの専門家として、患者さんの病状やライフステージに合わせたこころのサポート・ケアを行っています。



視能訓練士

小児の弱視や斜視の視能矯正や視機能の検査を行う国家資格を持つ専門技術職です。眼科一般分野で幅広い視機能検査を行っています。



臨床支援士

診断書の作成補助や診療記録の代行入力など医師の事務作業の補助を行っています。



医療事務員

医療事務全般を担当し、フロアマネージャーや各受付、会計業務まで、患者さんの気持ちに寄り添った接遇を心掛けています。



医療 ソーシャルワーカー

様々な制度を使い、関係機関とつなぎ、患者さんやご家族の抱える問題を支援する仕事をしています。



事務職員

総務や医事業務、経営企画や施設・物品管理等、縁の下の力持ちとして、病院を支えています。



異なる価値観への理解と寛容さを学んだ研修

私は、当院赴任前の浜松医大では胃食道逆流が原因となる食道がん(食道腺がん)の予防に関する基礎研究を行っていました。このタイプの食道がんは日本ではまだ少ないものの、食生活の欧米化に伴い、今後増加すると予測されています。2016年にシンガポールで開催された国際食道学会で、学会長を務めた米国メイヨークリニックのWang先生に留学を申し入れ、快諾をいただいたのが、今回の留学のきっかけです。19年9月から11月まで、メイヨークリニックで学んで参りました。

メイヨークリニックは巨大な総合病院で、米国の病院ランキングでは常にNo.1の評価を受け、世界的にも著名な先生が多く勤務しています。研修内容は、内視鏡室で検査・処置を見学することが主でしたが、医師に限らず医療スタッフは皆、私に非常に親切にしてくれました。異国の一流病院に独り乗り込み、不安だった私にはありがたい対応で、帰国後はこれまで以上に外国の方に親切にしようと思いました。メイヨークリニックの理念の一つに『generous(寛大)』があることの現れだと思います。

食道がんの内視鏡観察法や内視鏡による切除技術は日本が一歩進んでおり、これらについて、Wang先生は私に意見を尋ね、実際に診療に取り入れてくれました。米国消化器内視鏡学会の会長も務めた経験もある先



消化器内科部長兼消化器内視鏡室長兼
教育研修室副室長
山田 貴教 医師

生でありながら、私のような一介の日本人医師の意見を尊重し、素直に取り入れる姿勢には、最新の技術や研究成果以上に学ぶべきものがありました。

ニューヨークを訪れた際は、9.11テロの爪痕とそこから立ち上がる米国の姿を目にすることとなりました。多様な人種、文化の混ざり合う米国では、異なった価値観への理解や寛容が意識され、そこから生まれる他者への敬意が日本以上に重要視されていることを実感しました。

「9.11メモリアルミュージアム」近くの看板に『Everyone's different and everyone's the same(みんな違って、みんな一緒)』とあったのが印象的でした。同じ民族と思ひ込み、違いを尊重することを忘れがちな私たち

日本人は他人との違いをもっと受け入れるべきかもしれません。

患者さんが直面する疾患や環境も全く同じものではありません。私たち医療者も、患者さん自身やそのご家族も、それぞれの違いに応じた考えや対応を意識するべきですね。



上：Wang先生と研究室にて
下：9.11メモリアルミュージアム近くの看板

メイヨークリニック セント・メアリーズ病院

院内日記

磐田市立総合病院ニュース

令和元年度 救急医療功労者 厚生労働大臣表彰を受賞

令和元年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰式が9月9日(月)、厚生労働省であり、磐田市立総合病院をはじめ全国15団体、個人23名が受賞しました。地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した医療機関や個人の功績をたたえるもので、今までの当院及び当院職員の救急医療に対する取り組みが評価されました。

今回の受賞を励みに、令和の時代も地域の救急医療の充実と発展に一層努めてまいります。



地域医療いわたから “ありがとうメッセージ”をいただきました!

「地域医療いわた」の三輪邦子代表が1月23日、当院を訪れ、市民から寄せられた当院職員への「感謝のメッセージ集“ありがとうメッセージ”」を鈴木病院長に手渡しました。

「地域医療いわた」は市民と当院、そして行政との架け橋となり、当院の地域活動を支援してくださっている市民団体です。あたたかいお言葉を励みに、今後も地域住民の皆様から安全・安心で信頼される病院を目指してまいります。

「地域医療いわた」の皆様、いつもありがとうございます!



業務改善・5S活動合同発表会を開催!

当院では、業務改善を通じて安全かつ効率的に業務ができるよう、各部署・各チームが取り組んでいます。業務改善の手法や得られた効果を他の部署と共有できるように、毎年、取り組み発表会を開催し、今年は1月29日に開催しました。

本年度の業務改善のテーマは「働き方改革」。当院の特色である5S活動発表会とコラボレーションし、ポスター形式の発表会を実施しました。



認知症高齢者を支える看護師の 育成研修を開催!

11月27日、公立森町病院と合同で認知症に関する研修会を当院で開催しました。磐田・森町の病院・訪問看護ステーションの看護師が認知症高齢者の看護について知識を高めるもので、年12回行っています。

「私たちもいつか歳をとる、そんな時どんな看護をしてもらったらうれしいか」を考えながら学んでいます。認知症高齢者に支援が必要になった時、安心して治療が受けられ、自宅で生活が送れるよう、施設間の看護師同士が“顔の見える関係”を築いて支えていきたいと思えます。



作ってみよう!

ハッピー レシピ

NO.1

1人前あたり 411kcal

たんぱく質 15.4g

脂質 8.0g

塩分 1.6g

材料2人前

- ・乾パスタ…………… 160g
- ゆで用…………… 水2L、塩30g(大さじ2)
- ・菜の花…………… 100g
- ・殻付きあさり…………… 200g
- ・オリーブオイル…………… 12g(大さじ1)
- ・にんにくチューブ…………… 6cm(大さじ1)
- ・白ワイン(日本酒でも可)… 50cc



ゆで時間1分! 菜の花のボンゴレ

作り方

- ① パスタはあらかじめ2時間ほどタッパー等に入れた水(分量外)に浸しておき、しんなりさせておく。あさは塩水で砂抜きしておく。
- ② フライパンにオリーブオイルとにんにくをいれ火にかけ、香りが立つまで弱火で加熱。あさと白ワインを入れふたをし、中火で貝の蓋があくまで加熱。
- ③ 塩を加え、沸騰したゆで水に①で戻したパスタと菜の花を入れ1分ゆでる。この時のゆで汁は100ccとっておく。
- ④ ゆであがったパスタと菜の花の水をきって、フライパンの②と合わせ、とっておいたゆで汁を加えて1分ほど味をなじませるように加熱する。

水漬けパスタはゆで時間を劇的に減らす時短テクです。もちもちとした食感になりますが、アルデンテが好みの方はちょっと芯が残るくらいに浸漬時間を短くしましょう。あさりから出るコハク酸はうまみ成分の一つ。ゆで汁の塩だけでもびっくりするくらいおいしく仕上がります。

外来受診についてのお願い

紹介状をお持ちの方は、予約が必要です

当院は、国(厚生労働省)の方針に基づき、かかりつけ医の先生が患者さんの病状や治療内容などを記載した紹介状により受診していただく仕組みとなっています。

紹介状をお持ちの方は事前予約をお願いします。予約無しで来院された場合は、翌日以降の対応となる場合もあります。

かかりつけ医から紹介を受けた場合や健康診断の結果による外来受診の場合も、必ず予約をお願いします。

患者さんが安心して、スムーズに受診していただくために、ご理解とご協力をお願いします。



磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保512番地3

TEL:0538-38-5000 FAX:0538-38-5050

<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>



ホームページ
はこちら



フェイスブック
はこちら